

研究協力をお願い

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。

研究目的や研究方法は以下の通りです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

この研究へ参加を希望されない場合、また、研究に管留守ご質問は下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

なお、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：急性大動脈解離治療成績向上に寄与する術式の確立

1. 研究対象者および研究対象期間

2011年以降、当院心臓血管外科にて大動脈解離手術を施行した患者様

2. 研究目的・方法

目的

急性大動脈解離は突然発症する放置した場合には致命的となる可能性が高く、緊急での外科治療を必要とすることが多い疾患です。急性大動脈解離の外科治療においては人工血管を使用しますが、自己の大動脈との吻合部の出血制御が肝要です。これまでに確実な人工血管吻合を目的とした様々な手術の工夫がされてきましたが、手術成績の十分な安定は得られておりません。これまで当科では確実な出血制御を目的とした術式の変遷があり、大動脈解離治療成績向上に寄与する術式を確立することを目的として、今回、それらの術式の臨床成績を後方視的に検証します。

方法

急性大動脈解離手術症例について

術前因子 年齢・性別・身長・体重・喫煙歴・既往症など

大動脈解離関連因子

JapanSCORE（日本成人心臓血管外科手術データベースに集積されたデータをもとにした、成人心臓血管外科手術における危険因子解析）

手術因子 術式・併施手技・止血手技・止血材料・輸血量・下半身循環停止時間・心虚血時間・人工心肺時間・止血時間・手術時間など

術後因子 術後合併症（不整脈・腎不全・脳梗塞・感染症・周術期心筋梗塞・肺炎・人工呼吸遷延・気管切開の有無など）・追加治療・入院死亡・入院期間など

についてデータベース化し、統計学的手法を用いて各術式の治療成績を検証します。

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ上の上記医療データ

4. 個人情報の取り扱い

研究成果の学会・学術雑誌での発表に際しては、個人が特定できないようデータベース作成後は匿名化します。

5. お問い合わせ先

岐阜県総合医療センター 胸部外科・心臓血管外科 梅田幸生

電話番号：058-246-1111